



エミールだより

2月

エミール保育園
園長 江口 浩三郎

『自由』と『自発性』がつくる子どもたち

ずっと以前に、「南の島に雪が降る」という映画がありましたが、それが現実となったこのお天気でした。

先日の保育参観と子育てシンポジウム、いかがでしたか。シンポジウムでは、発表された方と満員の会場の皆さんの心が、同じ波長になっているのを感じました。子どもはみんなの宝です。苦楽を共にする同じハーモニーのなかで、時間を共有していきましょう。

ところで、「自由」と「自発性」を看板にかかげていても、看板だおれになったら意味がありません。そのために私たちはまず、子どもがこの二つを満喫できる環境づくりから始めます。「敏感期」をはじめとする乳幼児期の成長のポイントを押さえながら、魅力的に取り扱いやすい教具が中心となります。そのうえで、ひとりひとりの子どもが教具となじみやすいように、わかりやすく教えていきます。これを「提示」といいますが、先生の子どもに対する観察力が最も必要とされるところです。

ここまでできたら、あとは子ども自身の世界が展開されます。これを「活動または生活の主人公となる」と呼んでいます。誰にも余計な邪魔をされずに、思う存分環境とかかわっていくことができます。ただそのためには、フルに頭をはたらかせたり、自分の感情を冷静にコントロールしていかなければなりません。「この次は何をやろうかな」とか、「時間がかかるけど、我慢して最後までやってみよう」とか、「どの友だちといっしょにやろうかな」とかです。また自分の身体も、大きく小さくフルに動かす必要があります。

成長に必要な活動をすればするほど、頭(脳)もどんどん発達します。頭(脳)が発達すれば身体もどんどん動くようになります。まさに「心と体のバランス」がうまく調整できるようになってくるのです。

子どもの頃のこんな生活の結果として、成長したら、「企画力」「予測力」「人間関係力」「課題解決力」等が身についてくることは、多くの子どもたちが証明してくれています。私はこれをひとまとめにして、「自分自身を、冷静に客観的に見つめる力」と考えています。

全てにおいて自分が出発点である以上、自分がどんな人間であるかがよくわからなかったら、足踏み出しようがありません。「自由」と「自発性」は、そのための足がかりとなってくれるものです。

ジョージ王子も、エミールの子どもたちと同じように誇り高い人間に育ててもらいたいものですね。

(園長より)

お別れ遠足のお知らせ 🎵🎶🎵🎶🎵🎶🎵🎶🎵🎶

早いもので今年度最後の遠足です。みどりさんにとっては、保育園生活最後の遠足で、楽しい思い出をたくさんつくってほしいと思います。お天気にめぐまれるとよいですね。

日程：2月18日(木) 9:00集合 目的地：福岡市動植物園 (福岡市中央区)

乗り物：貸切バス 6台 対象：本園全クラス、子どもの家

* お弁当がいります。保護者の引率は必要ありません。

* 詳しいおたよりは2月10日に配布します。



2月の行事予定

1	月	バードウォッチング
2	火	卒園記念写真撮影(5歳児)
3	水	豆まき
4	木	スケート教室
5	金	(5歳児) ↓
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	
11	木	
12	金	避難消火訓練
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	有田小1年来園
17	水	
18	木	お別れ遠足
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	誕生会
23	火	
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	

体育教室 5歳児

12・19・26日 金曜日

絵画教室 5歳児

8・25日 木曜日

